

1 梨の生育状況

- ・果実肥大は、7月16日の無作為調査結果では、「幸水」の横径は59.2mm（前年：55.4mm、平年：58.6mm）で、前年より大きく、平年並みとなっています。
- ・「幸水」の裂果は、概ね今週で終息すると思われます。着果量が多い園では、裂果が収まった後に早急に補正摘果を行い果実肥大を促してください。

2 黒星病について

表1～4のとおり、7月中旬における果そうの発病率は、いずれの品種も低い状態です。ただし、「幸水」、「豊水」では6月中旬に比べ増加傾向にあるので、引き続き、り病部位の除去と薬剤防除の徹底をお願いします。

表1 「幸水」における年次別の7月中旬の黒星病発病果そう率(%)

R6調査日	R6	R5	R4	R3	R2	R元	H30	H29	H28	H27 (多発年)
5月15日	2.7	34.8	13.6	2.4	0.3	0.8	7.4	3.1	5.9	—
6月13日	2.1	22.9	34.4	2.6	0.4	2.8	19.7	5.9	6.7	45.8
7月14日	3.5	13.6	8.8	2.1	0.8	0.4	14.9	7.7	10.8	28.1

表2 「豊水」における年次別の7月中旬の黒星病発病果そう率(%)

R6調査日	R6	R5	R4	R3	R2	R元	H30	H29	H28	H27 (多発年)
5月15日	1.0	18.6	7.3	0.6	0.4	0.7	7.8	12.1	5.9	—
6月13日	1.1	17.3	24.4	1.6	1.1	4.6	19.2	14.6	8.4	42.6
7月14日	2.5	9.0	7.8	1.9	1.3	1.1	17.3	13.6	6.9	28.8

表3 「あきづき」における年次別の7月中旬の黒星病発病果そう率(%)

R6調査日	R6	R5	R4	R3	R2	R元	H30	H29	H28	H27 (多発年)
5月15日	1.0	8.3	0.5	1.0	0.0	0.5	2.5	2.5	0.0	—
6月13日	0.0	11.7	5.0	1.2	0.0	0.0	7.0	3.0	2.0	7.2
7月14日	0.0	11.2	1.3	1.2	0.0	0.6	11.5	3.5	4.5	21.4

表4 「新高」における年次別の7月中旬の黒星病発病果そう率(%)

R6調査日	R6	R5	R4	R3	R2	R元	H30	H29	H28	H27 (多発年)
5月15日	0.0	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0	1.4	1.1	0.4	—
6月13日	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.7	4.0	0.1	1.6	31.3
7月14日	0.0	2.8	0.8	0.0	0.0	2.0	4.4	2.0	2.6	24.0

3 除草剤の使用基準について

除草剤の使用に当たっては、下記の使用基準を遵守してください。

- (1) 収穫前日まで使用可能：バスタ液剤（年3回以内）、プリグロックスL（年5回以内）
- (2) 収穫7日前まで使用可能：ラウンドアップマックスロード、サンファーロン液剤、
草枯らしMIC（グリホサートを含む農薬は合わせて年3回以内）

非農耕地用の除草剤を梨園地内や畦畔等には絶対に使用しないでください。

4 これからの防除について

○ハマキムシ類の発生が多いため、コンフューザーNの追加設置は全品種で必ず実施してください！

また、ハマキムシ類対策の強化に加え、今後カメムシ類の飛来が多くなると予測されますので、19回目の防除(「幸水」収穫終了後)にアグロスリン水和剤(2,000倍、収穫前日まで、年3回以内)を混用してください。

○これからの防除は、収穫期間近あるいは収穫期間中となるので農薬の使用時期(収穫前日数)に十分注意してください。周囲の収穫園にも気を配りましょう(「香麗」や「なつしずく」などの早生品種にも注意してください)。

なお、使用時期が「前日」のものは散布後24時間、「3日」のものは散布後72時間収穫できません。

回数	散布月日	薬剤名と希釈倍数	使用時期 (収穫前日数)	散布量	主な対象病害虫	防除実施日 (自己記入)
	7月25～30日頃	コンフューザーN <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">必ず設置してください！</div>	50本/10a		リンゴコクモンハマキ、モモシクイガ、ナシヒメシクイ	
18	7月31～8月2日	オーソサイド水和剤 80 1,000倍 (収穫72時間前まで) アグロスリン水和剤 2,000倍	3日 前日	300 リットル	黒星病 、輪紋病 シクイムシ類、ハマキムシ類、カメムシ類	
特散	8月5～9日 <u>防除前に草刈りを！</u>	マイトコーネフロアブル 1,500倍 (収穫24時間前まで)	前日	<u>400</u> リットル	ハダニ類	
●殺ダニ剤の効果を十分発揮させるため、散布前には必ず草刈りを実施しましょう。						
19	9月上旬頃 「幸水」 収穫終了後	ナリアWDG 2,000倍 (収穫24時間前まで) アグロスリン水和剤 2,000倍 (収穫24時間前まで)	前日 前日	300 リットル	黒星病 <u>シクイムシ類、ハマキムシ類、カメムシ類</u>	
●ハマキムシ類、カメムシ類への対策を強化するため、アグロスリン水和剤を混用してください。 ●全品種が防除対象となります。 ●防除日は、「幸水」の収穫状況を見極めて決定し、8月下旬頃にお知らせします。						
20	10月上旬頃 「あきづき」 収穫終了後	オーソサイド水和剤 80 1,000倍 (収穫72時間前まで)	3日	300 リットル	黒星病	
●オーソサイド水和剤80は、全品種が防除対象となります。 ●防除日は、9月下旬頃にお知らせします。						

※散布に当たっては、希釈倍数や対象病害虫など、農薬容器のラベルを必ず確認してください。

※こまめに水分を補給するなど、熱中症に留意してください。

※周囲の農作物や住宅等への農薬の飛散に十分注意して散布してください。特に、通学路に面した園地では、登下校時の時間帯を考慮して散布してください。また、防除開始時間は、午前5時以降としてください。

カメムシ類の吸汁被害果が多い場合は、速やかに富山農林振興センター・濱谷(090-3762-5149)または各地区の防除担当者へご連絡ください。